

久留米市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進協議会 平成29年度 第3回会議 会議要旨

日時	平成29年10月16日(月) 18:30~19:45	
場所	久留米医師会館 教室1	
出席者	<p>委員：大治委員、中島委員、岡委員、杉本委員、小玉委員、大久保委員、柴田委員、滝口委員、重永委員、西田委員、濱本委員、永江委員、吉永委員、宮本委員、岩坂委員、永野委員、堀委員、西村委員、下川委員、鐘ヶ江委員、佐藤委員</p> <p>事務局：・長寿支援課 堤課長、溝江補佐、山田補佐、出利葉補佐、坂田主査、野口、谷本 ・介護保険課 柴尾課長、高山補佐、木下 ・地域福祉課 川崎課長、後藤補佐 ・健康推進課 吉塚課長 ・商工政策課 大宝補佐 ・交通政策課 犬塚課長、権藤主査 ・住宅政策課 今村課長</p>	
欠席者	委員：今里委員、滝口委員、宮崎委員、三原委員	
傍聴者	5名	
議事次第	<p>1 開会 2 会長挨拶 3 報告事項 (1) 今後のスケジュールについて (2) 第6期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の進捗状況評価について 4 協議事項 (1) 「見える化」システム等による地域分析について 5 その他 6 閉会</p>	
議 事		
<p>1 開会 2 会長挨拶 3 報告事項</p> <p><会長></p>	<p>(会長挨拶)</p> <p>(1) 「今後のスケジュールについて」事務局より説明を求める。</p> <p>(事務局より資料1に基づき説明)</p> <p>(2) 「第6期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の進捗状況評価について」事務局より説明を求める。</p> <p>(事務局より資料2に基づき説明)</p> <p>【資料2: 第1章から第3章について】</p> <p>おおむね皆様にご議論いただいた内容が集約されているかと思う。前回の協議の中では数的なものだけでなく質的な評価方法について、今後検討すべきという意見が出ていた。その点も含めて、ご意見、ご質問等あればお願いしたい。</p>	

<p><委員></p>	<p>P 3 3 『災害のための援護体制』について、災害とは火災だけのことか、それとも全体のことを言われているのか。評価としては、火災のことしか記載されていない。</p>
<p><事務局></p>	<p>災害時要援護者名簿の登録を進めるというところで、基本的にはすべての災害に向けた対策となっている。それに加えて、防火指導という施策についてまとめさせていただいた。</p>
<p><委員></p>	<p>『災害時のための援護体制』について、ケアマネジャーに独居の方など災害時に支援が必要な方等の把握を目的とする災害時要援護者名簿への登録について、久留米市より協力依頼があっていた。その後、名簿の登録・更新等はどうか。結果がわからないままだったが。</p>
<p><事務局></p>	<p>フォローが漏れていた部分はあるかと思う。ケアマネジャー、相談支援専門員等に協力を呼びかけてきたという経緯があり、現在も継続的に行っている。名簿の登録は進んでいると認識している。報告をしておらずに申し訳ない。ただ、本人がどのケアマネジャーと関係があるかは申請上見えない部分がある。個別にはなかなか報告できないため、その点をご容赦いただきたい。</p>
<p><会長></p>	<p>最近は風水害が多発している。先ほどの意見を十分拾い上げていただき、どのような支援をしているのかを具体的にあげていただくようお願いする。他にないか。</p>
<p><委員></p>	<p>P 2 8 『介護家族への支援』について、事業の評価をCとして、P 3 3 『この章の評価』に「参加者数は目標に達しておらず、講座内容の見直しや受講しやすい環境づくりに取り組む必要がある」という記載がある。開催場所である校区コミュニティセンターまでの公共交通機関がなかったり、車に乗れなかったりという事情があると思う。久留米市の特徴として、多くの地域密着型サービス事業所があり、そこを会場として使用すると、歩いて参加できるなど、身近なところでの開催になると思う。その辺りを評価として反映していただけるとありがたい。</p>
<p><事務局></p>	<p>地域密着型サービス事業所が多いことは、久留米市の特徴的なことだと思っているので、参考にさせていただきたい。</p>
<p><委員></p>	<p>小規模多機能など様々な地域密着型サービス事業所があると思うが、各校区に整備されているので、その場所をうまく使っただけならと思う。</p>
<p><会長></p>	<p>他にないか。</p>
<p><委員></p>	<p>P 2 8 の家族介護教室の内容は基本的なものとなっている。介護家族からは一対一で負担にならない方法を教えていただきたいという要望がある。家族が倒れたら、ご本人は施設などに入所しなければならず、在宅介護が難しくなる。その人にあった負担軽減になる方法を指導してほしいという意見があった。</p>
<p><事務局></p>	<p>家族介護教室は、今年度から少し見直しをさせていただき、講師と参加者の距離が近まるような形での取り組みを進めている。最終的には、一人ひとりの状態にあった介護方法もご家族にお伝えできるのが理想であろうと考えているが、教室型では限界があるかもしれない。個別の介護方法については、デイサ</p>

	<p>ービスやヘルパーなどの日々の介護事業所とのやり取りの中で、十分ご協力いただいているのではないかと考えている。家族介護教室の中でも少人数化など個別のケースで話せるような環境づくりができればということで検討している。</p>
<会長>	<p>数値目標として参加人数を設けているが、満足度調査を取り入れると、参加人数が少なくても満足度が高いという結果が得られるかもしれない。是非、その辺りをお願いしたい。他になければ、次に移るがよろしいか。第4章から第7章について事務局より説明をお願いする。</p>
	<p style="text-align: center;">【資料2:第4章から第7章について】</p>
<会長>	<p>インフラ整備や権利擁護事業などの内容が含まれていたかと思う。ご意見、ご質問等あればお願いしたい。</p>
<委員>	<p>P 4 4にある認知症カフェというのは認可制なのか、登録制なのか。久留米市にはどのぐらいあるのか。人の話を聞いて、自分のことを話したりすることが認知症や重度化の予防につながると考えている。</p>
<事務局>	<p>認知症カフェの箇所数としては、6箇所程度と把握している。最近少しずつ増えているため、数字は随時変わっていくと思われる。届出をする、許可を受けるという性質のものではない。中身としては、ご家族の語らいの場、当事者の参加の場、あるいは、予防の場などさまざまな形態がある。</p>
<委員>	<p>届出は必要ないということか。</p>
<事務局>	<p>今のところ考えていない。</p>
<委員>	<p>何かあったほうがよいと思うが。</p>
<会長>	<p>認知症カフェの質的な担保に市役所が関わることはないのか。</p>
<事務局>	<p>実施主体より、情報提供をいただき、ホームページなどに掲載することはできる。基準などはないが、看板に即した運営ができていないかを見ていきたいと考えている。</p>
<委員>	<p>前回もお話ししたが、ノンステップバスについて、交通事業者に購入の意志がないと新規導入はないということで、今後も導入実績がないとなってしまうともったいない。多くの市民の声を上げていただき、行政からもアピールしていただきたい。</p>
<事務局>	<p>ノンステップバスについては、平成26年度に1台導入以降、導入できていない。バスの利用者が伸びていかない状況の中で、交通事業者で新車を購入することが難しくなっている。ただ、ノンステップバスは車椅子の方などにとって非常に乗りやすいものなので、引き続き交通事業者に対して導入に向けた働きかけを行っていききたいと考えている。また、ワンステップバスについては導入が進んでいる。</p>
<委員>	<p>ノンステップバスは国からの助成金はないのか。</p>

<p><事務局></p>	<p>国からの助成金もある。限度額があるが新車購入分とノンステップバスの差額の2分の1を市と国で補助することになっている。ただ、新車導入による車両償却費の増加が路線の収支に大きく影響することから、久留米市内の路線には新車を入れることが難しい状況である。</p>
<p><委員></p>	<p>低床車両であるノンステップバス、ワンステップバスは、ともに車椅子でも乗れるということだが、次に来るバスがその車両であるか分からないため、利用しづらいものとなっている。高知の事例だが、タウンモビリティという仕組みを使って外出をする人たちが増えてきたことにより、交通事業者が利用時間に合わせて低床車両を運行する仕組みをつくって、バスに乗りやすくなったということがある。また、路線だけでなく、バスを待つ場所などがひとつずつ整備されていくことによって利用率も上がっていくと思う。移動することと行く場所があることの両方を合わせて考えていただければと思う。</p>
<p><事務局></p>	<p>市としては、ノンステップバスの導入に向けた取り組みと合わせて、市内に残っているツースtepバスを低床車両に置き換えていくことを事業者に促していきたいと考えている。引き続き、交通政策課と長寿支援課で連動しながら進めていきたい。</p>
<p><委員></p>	<p>第4章から第6章は地域包括支援センターの内容が含まれている。数値目標だけを達成しており、中身が見えにくいというご指摘があったが、いくつかの内容がそれぞれに関連しているところである。地域包括支援センターが何をするとところなのか、その辺りが周知されていないように感じる。内容的な周知をもう少しお願いしたい。また、P45『ものわずれ予防検診』について、軽度認知症(MCI)と記載されているが、軽度の人を早期発見するというのであれば、MCI等にするなど、少し表現を変えたほうがよいと思う。認知症については様々な取り組みが進んでおり、認知症地域支援推進員も期待される場所である。引き続き、積極的な取り組みをお願いしたい。</p>
<p><会長></p>	<p>地域包括支援センターの業務内容について、周知が不十分ではないかというご意見だったが、いかがか。</p>
<p><事務局></p>	<p>地域包括支援センターについて、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、要支援認定を受けている方には7割、認定を受けていない高齢者の方には4割の認知度となっている。家族介護教室や認知症サポーター養成講座等の機会に地域包括支援センターの紹介をさせていただいている。また、地域包括支援センターにおいても、「包括だより」を2ヶ月に1回発行し、まちづくり振興会を通じて各自治会に広報している。引き続き、周知徹底に努めていく必要があると考えている。また、MCIの表記については改めさせていただく。</p>
<p><委員></p>	<p>P55『市営住宅のバリアフリー化』について、平成28年度は指標が未設定となっているが、新築や建て替えが平成27年度には行われ、平成28年度以降が白紙ということであれば、行政の取り組みとしては不適切であると思う。このことについて是非、検討していただきたい。</p> <p>また、認知症対策について、久留米市の健診において早期発見のために画像診断を導入してはどうか。初期段階をどのように見つけるのかを医師会としっかり話を進めてもらいたい。「認知症についての正しい理解を広げることができた」という記載があるが、本当にそうか。是非、今、申し上げたことを取り上げていただきたい。</p>

<p><事務局></p>	<p>市営住宅について説明させていただく。この第6期計画で上げている期間は平成27年度から平成29年度の3年間だが、市営住宅の建て替えに関しては、平成23年度から平成27年度の5箇年という期間で計画している。そのため、この第6期計画では、平成27年度までしか設定できなかったというのが現状である。今後の建て替え計画については、平成28年度から5箇年の計画を策定中である。今のところは明確なスケジュールは決まっていない。</p>
<p><事務局></p>	<p>健診への画像診断の導入については、後日、確認して回答させていただきたい。また、高齢者がいつまでもいきいきと過ごしていただくためには介護予防が重要である。「にこにこステップ運動」や「ドレミで介護予防」などを実施している。今までは、教室型を中心に実施していたが、今年から、校区コミュニティ組織や老人クラブ、あるいは、地域包括支援センターを経由しての地域での自主グループなどでも、にこにこステップ運動ができるという取り組みを始めている。これからは教室まで行かなくても身近な場で介護予防ができるよう充実させていきたいと考えている。おたっしや出張講座では、様々な形で講師を地域に派遣する仕組みをつくっている。そういったものをうまく活用いただきながら、いつまでも健康に、認知症を発症しないようにといった取り組みに努めていきたいと考えている。認知症の理解が進んだかというご意見だったが、確かに、市民の方一人ひとりの認識が進んでいるかを測ることは難しいが、理解が進むように認知症サポーター養成講座等を通じて、認知症に対する理解を深めていただけるよう努めていきたいと考えている。</p>
<p><会長></p>	<p>よろしいか。それでは第4章から第7章は一旦終了とする。第8章から第9章について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>【資料2:第8章から第9章について】</p>	
<p><会長></p>	<p>第8章、第9章についてご意見、ご質問はあるか。第8章については、前回議論した内容が良くまとまっていると思うが、いかがか。</p>
<p><委員></p>	<p>P70『住宅改修及び福祉用具の点検』、事務局から説明があったとおり、訪問点検というのは非常に重要である。転倒リスクなどにもつながるところなので、是非、進めていただければと思う。専門家が点検しないとわからないところもあるため、専門家の活用も是非ご検討いただければと思う。</p>
<p><会長></p>	<p>非常に活発なご意見をいただき、ありがたく思う。第6期計画の推進状況評価について、皆様から多くのご意見をいただいた。それを踏まえ、第7期計画の骨子案の作成をよろしくお願ひしたい。それでは、次の協議事項に移る。</p>
<p>4 協議事項</p>	<p>(1)「見える化システム等による地域分析について」事務局より説明を求める。</p> <p style="text-align: center;">(事務局より資料3に基づき説明)</p> <p><会長> 読み取るのが大変かと思うが、事務局の説明に対してご意見、ご質問等あればお願ひしたい。</p> <p><委員> 大変興味深いデータである。ホームページ等での公表予定はあるか。</p> <p><事務局> 今回の協議会の資料としてホームページに掲載する。また、見える化システ</p>

	<p>ム自体はインターネット上で一般に公開されているものである。来年度以降も適宜分析等を行っていきたいと考えている。</p>
<委員>	<p>今回は佐賀中部広域連合との比較を主にされているが、全国的にはもっと類似した自治体もあるかと思う。また、過疎地域、人口減少地域などとの比較にも興味がある。是非、検討をお願いしたい。</p>
<会長>	<p>今のご意見は大変重要だと思う。よろしくをお願いしたい。</p>
<委員>	<p>見える化というのは、グラフ化ということではないのか。少し理解しづらい。視覚的に分かりやすいという意味での「見える化」になっていない。</p>
<事務局>	<p>今回の資料においては、グラフ等が少なく申し訳ない。次回はグラフ等を使用し、わかりやすい資料になるよう配慮したい。見える化システムは厚生労働省のホームページからどなたでも使用していただける。グラフも出力できるようになっているため、是非、一度ご覧いただければと思う。</p>
<委員>	<p>全国との比較だけではなく、久留米市の3年分のデータの変化は今後の介護需給の予測を示すもので大変重要だと思っている。是非、市民にわかりやすく明示いただきたい。</p>
<委員>	<p>全国との比較と福岡県との比較はわかるが、佐賀中部広域と比較された根拠は教えてほしい。</p>
<事務局>	<p>周辺の保険者の中で、人口規模が久留米市に近いということで比較対象に選んでいる。佐賀中部広域は、久留米市に比べ、高齢化率が高いという特徴がある。</p>
<会長>	<p>調整済の認定率という考え方で、ある程度年齢構成の違いは調整されており、認定率の違いも比較できるとのことである。他にないか。</p>
<委員>	<p>通所系サービスが多いと出ている。ケアマネジャーとしても、訪問サービスを利用するよりも通所サービスを利用したいという方が大勢いらっしゃると思っている。今、介護されている若い方が多いので、日中は外に出して夜だけ見るといった場合がある。どういう方が通所系サービスを利用しているのかを把握することが必要である。多く利用している方は見直しが必要と言われるが、家族の負担を考えると、どういう方が通所系サービスを利用しているのかというデータがあるとよい。また、介護認定のところで、認定調査の統一性がないと感じている。調査当日だけではなく、前後の状況も確認してほしい。医療との連携という意味で、主治医意見書が必要になってくるが、認定申請の際は医師と連携を取りながら、在宅での様子をお伝えする義務があると思う。普段の様子をお伝えするのがケアマネジャーの責任と思っている。きちんと連携を図っていきたいと考えている。</p>
<事務局>	<p>データ分析については、家族構成等も含めて、今後、様々な分析ができると思う。ケアプランチェックにおいて、サービスを多く利用しているからいけないとは全く思っていない。逆に言うと、過少な利用もいけないと思っている。そういった視点で適正なケアプランになっているかをチェックさせていただいている。また、認定調査については、研修の実施等によりばらつきがないよう努めていきたい。医療、介護の連携については、委員のおっしゃるとおり、十</p>

<p><会長></p> <p>4 その他 <事務局></p> <p>5 閉会 <事務局></p>	<p>分な連携を今後もお願いしたい。</p> <p>新しい評価指標など、興味深い点が多くあった。委員からご意見があったように、どういう要因が背景にあるのか、その数値の理想はどこにあるのかなどを分析し、久留米市が日本の標準になっていくような形で運営されていけば理想的だと思う。最後に何かあるか。ないようであれば、次に移る。以上で本日の議題は終了したが、その他で事務局から何かあればお願いしたい。</p> <p>資料1のスケジュールに記載しているとおり、第4回協議会を11月13日(月)18時半から同じ会場で予定している。よろしくお願いしたい。</p> <p>本日は円滑な議事進行にご協力いただきありがとうございます。これをもって、久留米市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進協議会平成29年度第3回会議を閉会とする。</p>
--	--